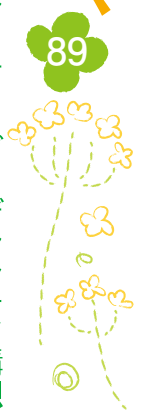


広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



●田原市臨海エリアに

新エネルギー施設が集積

田原市には、豊富な日射量や半島性の強い風の力を利用した二酸化炭素を排出しないクリーンな発電施設がたくさんあります。

その代表的な地域として、三河湾沿岸の臨海工業専用地域があげられます。平成25年9月末現在で、大型風力発電施設（風車）が13基（1980kW×2基、2000kW×11基）稼動しています。ここでは、一般家庭約1万5200世帯分の電気が作られています。

これに加えて、現在、新たな施設の建設も進められています。平成26年6月には、2000kWの風車が3基、同年10月には、5万kWの太陽光発電施設（メガソーラー）と2000kWの風車3基の稼動が予定されており、平成27年4月には81万kWのメガソーラーが稼動する予定です。さらに、平成28年6月には1万5000kWのメガソーラーの稼動も予定されています。



●建設中のメガソーラー

これらの施設全てが稼動すると、一般家庭約6万7100世帯分の電気が作られます。田原市の世帯数が約2万2000世帯ですので、この臨海エリアだけで田原市の全世帯で使う電力の3倍強が作られることになり、日本有数の新エネルギー施設集積地となります。

今後も、田原市では新エネルギー施設の導入促進を積極的に図っていきます。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人279人・事業所88カ所（8月末現在）

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん 17

ゴミゴモンとリサイクルレンジャー

紙類・布類は収集された後、資源として再生利用が可能です。今回は、これらのごみがどの様にリサイクルされるかを紹介します。

紙類
古紙の種類によって、再生される用途が異なります。4種類に分けて出してください。



紙類として出せないもの
においや汚れがついているもの、酒パックなどの裏が銀色のもの、クリップや粘着テープなどの異物、ビニールコート紙など

布類
衣類や薄手の布類は主にウエス（工場などで使用される雑巾）やぬいぐるみ・座布団などの詰め物に再生されます。

布類として出せないもの
じゅうたん、布団・はんでんなど綿の入ったもの、布以外の素材を使うたもの

※紙類・布類は濡れるとリサイクルができません。雨の日にはステーションにご出さないようお願いいたします。

現在、多くの紙類・布類がもやせごみとして出されていますが、資源ごみとして分別する事でごみの減量につながります。ご協力をお願いします。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>